

半導体集積科学専攻 博士課程前期

科目区分	授業科目	単位数	要修得単位数	履修区分
基盤科目	融合科目	先端物質科学特別講義	2	2
		【概論科目】		
		物質科学概論	2	0~4
		生命科学概論	2	
		エレクトロニクス概論	2	
	実践キャリア科目	大学院共通授業科目（該当科目については、別に定める。）		選択
		職業教育特別講義	1	
	コミュニケーション科目	科学技術英語表現法	2	必修
		コミュニケーション能力開発	2	選択
専門科目	学術活動演習科目	大学院共通授業科目（該当科目については、別に定める。）		6~12
		海外学術活動演習		
	その他	大学院共通授業科目（該当科目については、別に定める。）		選択
		研究科共通特別講義		
	演習科目	集積回路・プロセス演習	2	選択
		学外実習	2	
	(1)材料・デバイス科目	半導体物性工学	2	必修
		電子デバイス物理	2	
	(2)集積化技術科目	LSI集積化工学	2	8~14
	(3)システム・回路設計科目	システムLSI設計	2	
		アナログ集積回路A	2	
		アナログ集積回路B	2	
		RF・高速回路設計のための電磁気学	2	
	(4)半導体・バイオ融合科目	MEMS技術	2	選択
		ナノバイオ融合マテリアル工学	2	
		複合センシング工学	2	
		生体情報処理システム	2	
		分子・バイオデバイス工学	2	
		半導体光物性	2	
		ナノサイエンス	2	
	その他	半導体集積科学特別講義		選択
研究科目		半導体集積科学特別研究Ⅰ	10	10
修了要件単位数			30	必修

履修方法

- 1 融合科目の概論科目は、4 単位まで修了要件単位数に含めることができる。
- 2 エレクトロニクス概論は、指導教員の承認を得た場合に限り選択することができる。
- 3 大学院共通授業科目の修了要件単位への算入方法については、学生便覧に掲載の大学院共通授業科目に関する頁を参照すること。
- 4 実践キャリア科目は、4 単位まで修了要件単位数に含めることができる。
- 5 コミュニケーション科目は、4 単位まで修了要件単位数に含めることができる。
- 6 海外学術活動演習は、2 単位まで修了要件単位数に含めることができる。
- 7 研究科共通特別講義は、2 単位まで修了要件単位数に含めることができる。
- 8 演習科目は、2 単位以上修得すること。
- 9 基盤科目（6 単位以上 12 単位以下）、専門科目、研究科目（10 単位）を含め、合計 30 単位以上を修得し、研究指導を受けること。
- 10 第 15 条ただし書の規定により 1 年以上在学すれば足りるとされた学生は、1 年間で半導体集積科学特別研究 I を 10 単位修得することができる。
- 11 他専攻又は他研究科等の授業科目のうち、指導教員が必要と認めるものについては、専門科目の単位とすることができます。